



## 総合型選抜から学校推薦型選抜への切替の時期

### ●総合型選抜入試から学校推薦型入試へ

総合型選抜入試の合格発表と学校推薦型選抜入試の出願・選考が重なるこの期間は、受験生にとっても保護者の皆様にとっても、非常に重要なターニングポイントとなります。現在の入試状況の確認と、今後の入試へのスムーズな切替を行うための重要なポイントをお伝えします。

#### ■ 総合型選抜入試の現状と次のステップ

総合型選抜入試の選考結果が出始めている時期です。国公立大学、私立大学、専門学校それぞれ、合格されたみなさん、本当にめでとうございます！合格した進路先への入学準備を行いながら、残りの高校生活を充実させてください。残念ながら不合格となったみなさんは、結果を受け止め、すぐに学校推薦型選抜入試、そしてその先の一般選抜入試へと気持ちを切り替えることが最も重要です。総合型での経験は決して無駄ではありません。なぜ不合格だったのかを分析し、次の選抜の志望理由書や面接に活かしましょう。気持ちの切り替えのスピードが合否を分けます。なるべく早く気持ちを立て直し、次の選抜の準備に取り掛かりましょう。

#### ■ 推薦型選抜入試について

●公募制推薦…各大学が定めた出願資格（評定平均値など）を満たしている場合に、高等学校長の推薦で大学を受験する制度です。評定平均値のクリアに加え、面接や小論文対策が必須です。大学によっては推薦枠の人数が定められており、校内選考が必要になる場合もあります。

●指定校推薦…大学が本校を指定し、推薦枠を与える推薦制度です。推薦枠の人数が定められており、校内選考を通過することで、受験することができる。

※専願の推薦型については、合格を辞退することはできませんので、よく考えて出願することが重要です。

#### ■ 学校推薦型選抜入試へのスムーズな移行

総合型選抜が終了するこの時期に始まるのが学校推薦型選抜です。学校推薦型へ向けた準備も総合型と同様大変なので、事前の準備が非常に重要です。大学によって出願期間が異なり、総合型選抜の結果を待ってからでは間に合わない大学もありますので、必ずスケジュールを確認してください。

##### 【志望理由書のブラッシュアップ】

総合型選抜で使用した志望理由書がある場合は、学校推薦型選抜の形式に合わせて内容を練り直しましょう。なぜその大学・学部でなければならないのかをより具体的に記述することが求められます。

##### 【小論文・面接対策】

総合型選抜と異なり、学力試験（小論文や基礎学力テスト）が課されるケースが増えます。過去問分析や面接の練習を徹底してください。

#### ■ 各種書類の発行について

調査書・推薦書等の発行は、担任に速やかに依頼してください。多くの先生方の目で書類に不備がないことを確認するので発行に時間がかかります。出願に確実に間に合うよう、余裕を持って発行を依頼してください。

#### ★ 一般選抜（共通テスト・個別試験）の準備も並行して

学校推薦型選抜の準備に集中しすぎて、一般選抜の対策が疎かになるのは最も避けるべき事態です。合格発表の日程によっては、すぐに共通テスト対策に戻る必要があります。両立できるような学習計画をぜひ立ててください。非情なようですが、『総合型・学校推薦型選抜の受験が終わったら、合格発表を待たずに落ちたつもりで学習に励むべし』。常に最悪を想定して生活することが、その後の人生にも生きできます。メンタル管理の主役はやはり自分自身ですよ！

#### ■ 保護者の皆様へのお願い

お子様のメンタルケアをお願いします。総合型選抜で不合格だった場合は大きなショックを受けていることと思います。まずは「よく頑張ったね、次に向けて一緒に頑張ろう」と励ましの言葉をお願いします。この時期は入試情報の確認、書類作成、面接練習と多忙を極めます。スケジュール管理と体調管理をサポートしてあげてください。困ったことがあれば、些細なことでも構いませんので遠慮なく、進路指導部または担任へご相談ください。全教職員が一丸となって、皆さんの進路実現を最後までサポートします。

#### ◆ 中学生・高校1・2年生へ

今、高校3年生は非常にナーバスな時期を迎えています。いずれ皆さんもこの時期を迎えることだと思います。是非、今のうちから心の準備をしておいてください。また、多くの受験生が、自習室や進路閲覧室で学習を行っています。誰でも活用できるスペースです。一緒に学習して、受験生の雰囲気を味わってみませんか？